大阪産（もん）

当日朝掘り 万博筍（たけのこ）販売

2020年 4／1～4／17の 月・水・金

万博記念公園中央ゲート内 太陽の広場前（雨天決行）

13：00～15：00

＊当日の収穫状況により筍の販売本数を制限する場合があります。売切れ次第、販売終了となります。

＊筍の品質が落ちてきた場合、販売終了日を早めることがあります

多くの人々がたけのこを食べてくれることが竹林の適正管理、環境保全につながります！

万博公園の竹林は、野と森の遊び文化協会が管理しており、高齢者中心のボランティアが担っています。販売は吹田市内の障がい者作業所と協働しておこなっています。

これらの活動が評価され、平成 25 年度の「大阪産（もん）ＰＲ大使賞」を受賞しました。

当協会（大阪府障がい者サポートカンパニー登録第 18 号）は、障がい者の就労支援も兼ねて実施しています。

竹林は管理せずに放っておくと、竹の根が広がり周辺の森林にまで竹が侵食し、他の植物を枯らすなどの影響がでます。適正に管理することで温室効果ガスの吸収源としても機能します。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
■＝2020年度販売日			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■主催・問合せ
特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会
電話・FAX　06-6877-6992（平日の 15：00 ー 17：00）
メール　office@notomori.jp

荒天等により中止の場合はホームページにて告知します

当協会のHPはこちら

野と森
検索
http://www.notomori.jp

特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会　万博記念公園・竹林での取組紹介

荒れ果てて、迷惑がられた竹林を 60 歳代・70 歳代が中心のボランティアさんが、きれいに整備しました。

保全管理された竹林は、温室効果ガス（CO_2）を吸収し、地球環境にもよい存在となります。

おいしいと評判の筍も、実は竹林保全のために間伐しているのです。（毎年 4 月に万博記念公園で販売）

筍販売は、障がいのある人々への就労支援の場でもあります。筍の売上の一部はかれらの収入にもなります。

整備された竹林では、子どもたちに環境教育を行ったり、障がいのある人々に筍間伐を体験してもらったりしています。

当協会では、竹林資源を公的資源として位置づけ、その資源の多面的機能をいかした活動を推進の上、わが国古来の伝統文化とその技術等の啓発を通じて、持続可能な社会において基調となるべき全員参加型社会の実現を趣旨とした事業を展開しています。これらの活動を担うボランティアの養成講座も開講しています。関心のある方はお問い合わせください。

電話・FAX　06-6877-6992
（電話は平日の 15：00 ～ 17：00）
メール　office@notomori.jp